

沿革

1999年	3月	ソフトバンク(株)の純粋持株会社化に伴う事業再編成を受けて、ソフトバンク(株)管理本部がソフトバンク・ファイナンス(株)として独立。金融関連分野における事業活動を統括する事業持株会社となる。	2006年	3月	ファイナンス・オール(株)と合併。
	7月	ベンチャーズ・インキュベーション事業を行う事を目的として、ソフトバンク・ファイナンス(株)傘下にソフトバンク・インベストメント(株)(当社)を設立。		7月	イー・トレード証券(株)(現(株)SBI証券)がSBIイー・トレード証券(株)に商号変更。
	11月	ソフトバンクベンチャーズ(株)(現SBIインベストメント(株))を完全子会社化。		8月	主要株主であるソフトバンク(株)の子会社が当社の全株式を売却したことにより、ソフトバンク(株)の持分法適用関連会社より除外となる。
2000年	6月	モーニングスター(株)がナスダック・ジャパン市場(現JASDAQ市場)に上場。	2007年	2月	シンガポール現地法人SBI VEN CAPITAL PTE. LTD.を設立。
	9月	イー・トレード(株)(現SBIホールディングス(株))がナスダック・ジャパン市場(現JASDAQ市場)に上場。		8月	私設取引システム(PTS)を運営するSBIジャパンネクスト証券(株)が営業開始。
	12月	ナスダック・ジャパン市場(現JASDAQ市場)に上場。		9月	(株)リビングコーポレーション(現SBIライフレビング(株))を子会社化。 住信SBIネット銀行(株)が開業。
2001年	4月	ソフトバンク・アセット・マネジメント(株)(現SBIアセットマネジメント(株))を子会社化。 エスピーアイ・キャピタル(株)(現SBIキャピタル(株))を設立。	2008年	10月	SBIイー・トレード証券(株)(現(株)SBI証券)が、同社を存続会社としてIHSBI証券(株)と合併。
	2月	東京証券取引所市場第一部に上場。		1月	SBI損害保険(株)が開業。
2003年	6月	イー・トレード(株)と合併し、事業持株会社としてイー・トレード証券(株)他を子会社化。以後、当社を中核会社とする事業再編を加速。		7月	SBIイー・トレード証券(株)が(株)SBI証券に商号変更。
	9月	ファイナンス・オール(株)が大証ヘラクレス市場(現JASDAQ市場)に上場。	8月	株式交換により(株)SBI証券を完全子会社化。	
	10月	ワールド日栄証券(株)(IHSBI証券(株))を買収し、子会社化。	11月	SBIリクイディティ・マーケット(株)が営業開始。	
2004年	11月	イー・トレード証券(株)(現(株)SBI証券)がJASDAQ市場に上場。	2010年	12月	香港現地法人SBI Hong Kong Co., Limited(現SBI Hong Kong Holdings Co., Limited)が開業。
	3月	公募増資によりソフトバンク(株)の持株比率が低下し、ソフトバンク(株)の連結子会社から持分法適用関連会社に変更。		4月	中国・上海市に駐在員事務所を開設。
2005年	7月	ソフトバンク・インベストメント(株)からSBIホールディングス(株)に商号変更。会社分割により、アセットマネジメント事業をSBIベンチャーズ(株)(現SBIインベストメント)に移管し、持株会社体制へ移行。	7月	韓国のKorea Technology Investment Corporation(現SBI Investment KOREA Co., Ltd.)を持分法適用関連会社化。	
	10月	中国・北京市に駐在員事務所を開設。	2011年	5月	マレーシア・クアラルンプールに駐在員事務所を開設。
	3月	中国事業統括会社である思佰益(中国)投資有限公司が開業。		3月	SBI FXトレード(株)が営業開始。
2012年	5月	SBIマネーブラザ(株)を中心とした対面販売部門の組織再編を実施、(株)SBI証券の対面部門を同社に移管。	2013年	3月	韓国の(株)現代スイス貯蓄銀行(現(株)SBI貯蓄銀行)の株式を取得し、連結子会社化。 いきいき世代(株)(現SBIいきいき少額短期保険(株))の全株式を取得し、連結子会社化。